

すべては信頼から

2026 年 行動規範

日々正しく行動するための手引き

Thomson Reuters™



CEO からのメッセージ

トムソン・ロイターは、最も高い倫理基準に基づく行動を常に実践することにコミットしています。本行動規範は、ビジネスにおける誠実さ、人権および個人の尊厳の尊重、透明性とアカウンタビリティ、持続可能な事業活動、適用法の遵守、そしてあらゆるレベルでの倫理的なリーダーシップへの取り組みを促進するものです。

私は、誠実に行動して模範を示し、アカウンタビリティの文化を強化するとともに、お客様、パートナー、同僚、そして地域社会とのあらゆる関わりにおいて、倫理と信頼を中核に据えることに取り組んでいます。

私は、皆さん一人ひとりが、社内における役職や立場に関わらずそれぞれの役割を果たしてくださると信じています。つまり、誠実に行動し、適切な判断を下し、自分自身だけでなく、互いにもこの基準を求めることです。

信頼を築くための皆さんの尽力に感謝します。

スティーブ・ハスカー
トムソン・ロイター 社長兼 CEO



リスク・コンプライアンスオフィス責任者からのメッセージ

トムソン・ロイターの行動規範は、簡潔で実践的、そして日々の業務における意思決定に役立つよう策定されています。本規範は、責任を持って適切な判断を下し、トムソン・ロイターを支える原則を守るための指針となるものです。

行動規範と「信頼の原則」に沿って行動することは、当社の評判を守るとともに、あらゆる業務上の関係において公平性、透明性、誠実さを維持し、正しい方法で事業を行うことにつながります。

私を含め、リスク・コンプライアンスチームの役割は皆さんをサポートすることです。不明な点があれば遠慮なく質問し、何かおかしいと感じたら自信を持って声を上げてください。倫理ホットラインをはじめ、皆さんをサポートするためのリソースがあることを忘れないでください。

この規範を読んで、日々の意思決定に活用してください。

ケリー・トムソン
トムソン・ロイター リスク・コンプライアンス最高責任者





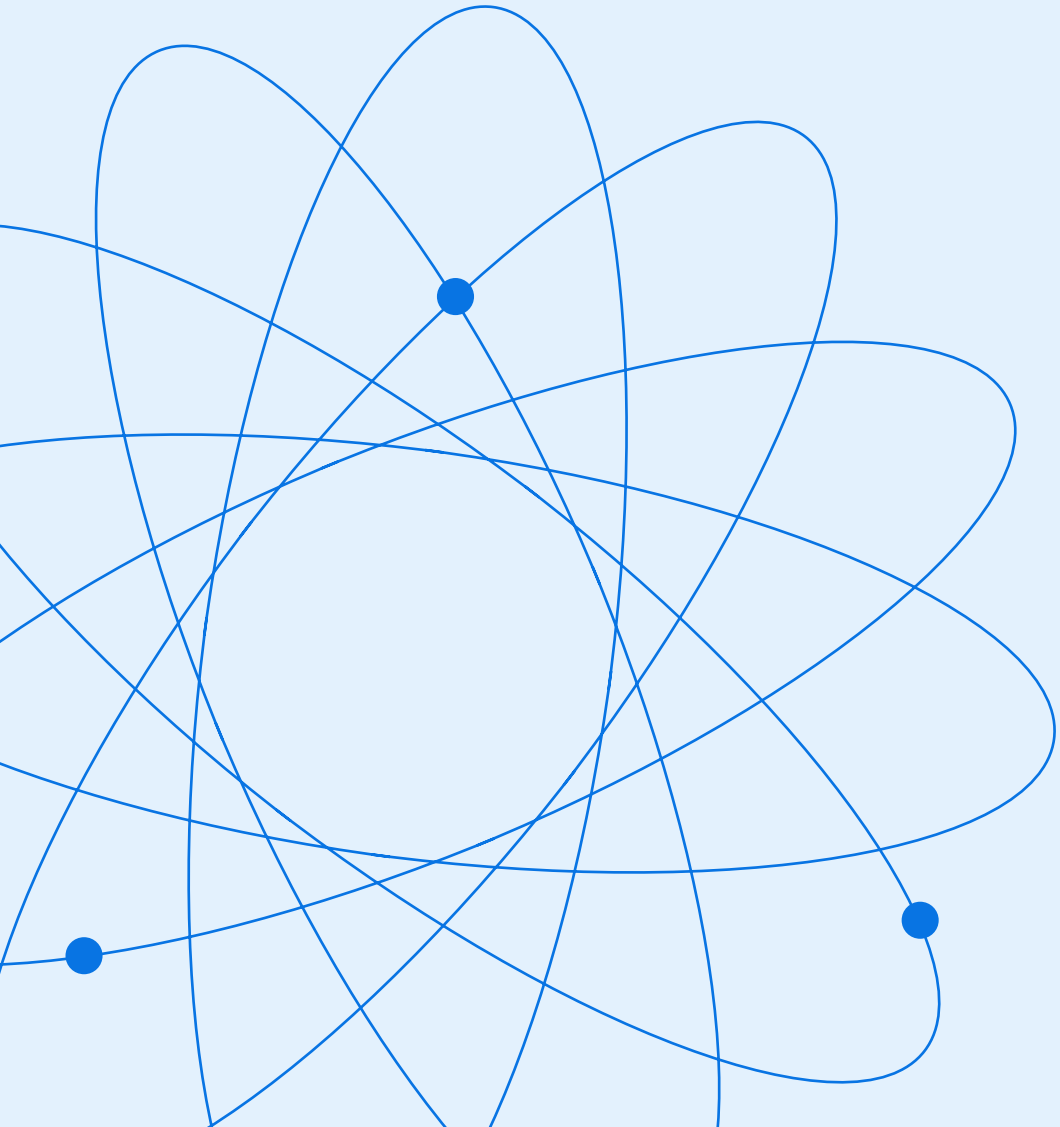
目次

ホーム	1
すべては信頼から	4
一緒に働く仲間	9
市場において	15
資産および情報	23
当社における管理	31
私たちのコミュニティ	37
倫理ホットラインに懸念を報告する	41
連絡先	43

第 1 章

トムソン・ロイターでは信頼を大切にします

日々正しく行動するための手引き



すべては信頼から
一緒に働く仲間
市場において
資産および情報
当社における管理
私たちのコミュニティ
倫理ホットラインに懸念を報告する
連絡先

行動規範の活用の仕方

この規範は、あらゆる状況に答えを示すものではありません。これは、行動する前に一旦立ち止まって考え、自問自答するのに役立つフレームワークを提供するものです。組織のあらゆる階層で働くすべての従業員が、日々の業務で活用できるよう、分かりやすく実践な内容としています。

どんな方針も、あらゆる事態を予測することはできません。ビジネスの世界は変化が激しく、状況は複雑で、規範のどの章にも明確に当てはまらないジレンマに直面することもあるでしょう。それは想定されています。重要なのは、どのような状況においても、当社の価値観、「信頼の原則」、そして正しいことをするという真摯な姿勢に基づき、適切な心構えで臨むことです。

クイックチェック — 行動する前に自問自答してみましょう

それが適切な判断かどうか迷っていますか?以下の質問を順に確認してみてください。すべてに「はい」と答えられない場合は、一旦立ち止まり、相談しましょう。

- この判断は、合法的で、トムソン・ロイターの方針に沿っているだろうか?
- この判断は、当社の価値観、誠実さ、独立性、バイアスの排除を反映しているだろうか?
- 上司や同僚、あるいは一般の人に、今していることとその理由をすべて知られても、後ろめたく感じないだろうか?
- 5 年後、この判断を誇りに思えるだろうか?

いずれかの答えが「いいえ」または「多分」だった場合は、立ち止まりましょう。先へ進まないでください。相談してください。

適用対象

本行動規範は、トムソン・ロイター・コーポレーションおよびその過半数保有子会社のすべての**従業員、役員、取締役、コンサルタント、請負業者および臨時従業員**に適用されます。当社の代理で行動する第三者または代理人も遵守しなければなりません。現地法が本規範よりも厳しい場合は、より厳しい基準が適用されます。

困難または不明確な状況に直面したときは、次の 3 つのステップに従いましょう

立ち止まる

何かおかしいと感じませんか?その直感を信じましょう。行動する前に立ち止まってください。その違和感こそが合図なのです。

考える

その行動は当社の価値観および行動規範に沿っていますか?信頼を築くことにつながりますか?信頼を損なうことはありませんか?本規範の該当する章を参照しましょう。クイックチェックで確認しましょう。目先の利益のために長期的な評判を犠牲にしてはなりません。

相談する

一人で悩む必要はありません。直属の上司、人事部門、または Enterprise Compliance に相談しましょう。
ECHelp@thomsonreuters.com

相談することは常に正しい選択であり、それによって不利益を受けることは決してありません。

すべては信頼から
一緒に働く仲間
市場において
資産および情報
当社における管理
私たちのコミュニティ
倫理ホットラインに懸念を報告する
連絡先

目的と価値観

トムソン・ロイターの目的は進むべき道を示すことです。当社の価値観は、あらゆる意思決定の指針となるものです。

私たちの価値観



顧客にこだわる。
当社の目標や課題よりも、お客様の目標や課題を優先する



自分と他者の考え方に挑戦する。
異なる視点を率直に提案する



互いに力を合わせる。
思いやりと責任感をもって高い基準を求め合う



勝つために競う。
粘り強く、俊敏に、そして妥協しない



迅速に行動し、迅速に学ぶ。
早く決断し、失敗から学ぶ

イントラネット上の企業文化：
目的 | 信頼の原則 | 価値観

トムソン・ロイターの「信頼の原則」

この原則は、150 年以上にわたってトムソン・ロイターを支えてきた指針です。信頼の原則は、単なるルールではなく、当社を形づくる要素の一部なのです。

① **独立性**

ロイターは、いかなるときも、特定の利害、グループ、派閥に支配されてはならない。

② **誠実さ、独立性、バイアスの排除**

トムソン・ロイターの誠実性、独立性、バイアスの排除は、いかなる時も完全に守らなければならない。

③ **偏りのない、信頼性の高いニュースサービス**

ロイターは、新聞社、通信社、放送局、その他のメディア契約者、ならびにロイターと契約を結んでいる、または結ぶ可能性のある企業、政府、機関、個人その他に対し、偏りのない信頼性の高いニュースサービスを提供する。

④ **幅広い利益に応える**

トムソン・ロイターは、メディアの利益だけでなく、サービスを提供するさまざまな人々や立場の利益にも十分に配慮しなければならない。

⑤ **たゆまない成長**

国際的なニュース・情報ビジネスにおける主導的なポジションを維持するため、ニュースおよびその他のトムソン・ロイターのサービスや製品の拡充、発展、適応にあらゆる努力を惜しまない。

すべては信頼から
一緒に働く仲間
市場において
資産および情報
当社における管理
私たちのコミュニティ
倫理ホットラインに懸念を報告する
連絡先

声を上げよう、それが常に正しい選択だから

懸念を報告するのに確証や証拠は必要ありません。誠意があれば十分です。黙っていれば安全ということは決してありません。

報告の方法

- 倫理ホットライン
  （法令上認められている場合、匿名での報告も可能）
  thomsonreuters.ethicspoint.com
  877-373-8837
  （米国／カナダ以外からは、国番号からダイヤルしてください）
- 直属の上司
- 人事部門
- Enterprise Compliance
  ECHelp@thomsonreuters.com

倫理ホットラインの
QR コードをスキャンし
てください

報告後のプロセス

1. **報告の受領：**速やかに受領確認されます。報告者に案件番号が伝えられます。
2. **調査開始:**調査は、適切な調査チーム（人事部門、法務部門、内部監査など）によって、迅速かつ徹底的に、可能な限り極秘で調査が行われます。
3. **調査終了：**調査が終了します。すべての報告は真摯に受け止められ、徹底的に調査されます。調査結果は事案によって異なります。報告された内容が事実と確認された場合は、適切な措置が講じられ、解雇や法的手続きに至ることもありますが、確証がないとして調査が終了することもあります。
4. **報復の禁止：**報復は一切容認されません。善意に基づいて懸念を表明したり調査に協力したりしたことを理由に、報復を行うことは厳格に禁止されています。

調査への協力に応じない場合、解雇を含む懲戒処分および／または法的措置の対象となることがあります。

すべては信頼から
一緒に働く仲間
市場において
資産および情報
当社における管理
私たちのコミュニティ
倫理ホットラインに懸念を報告する
連絡先



倫理ホットラインの QR コードをスキャンしてください

アカウンタビリティ

本規範適用対象者の責務

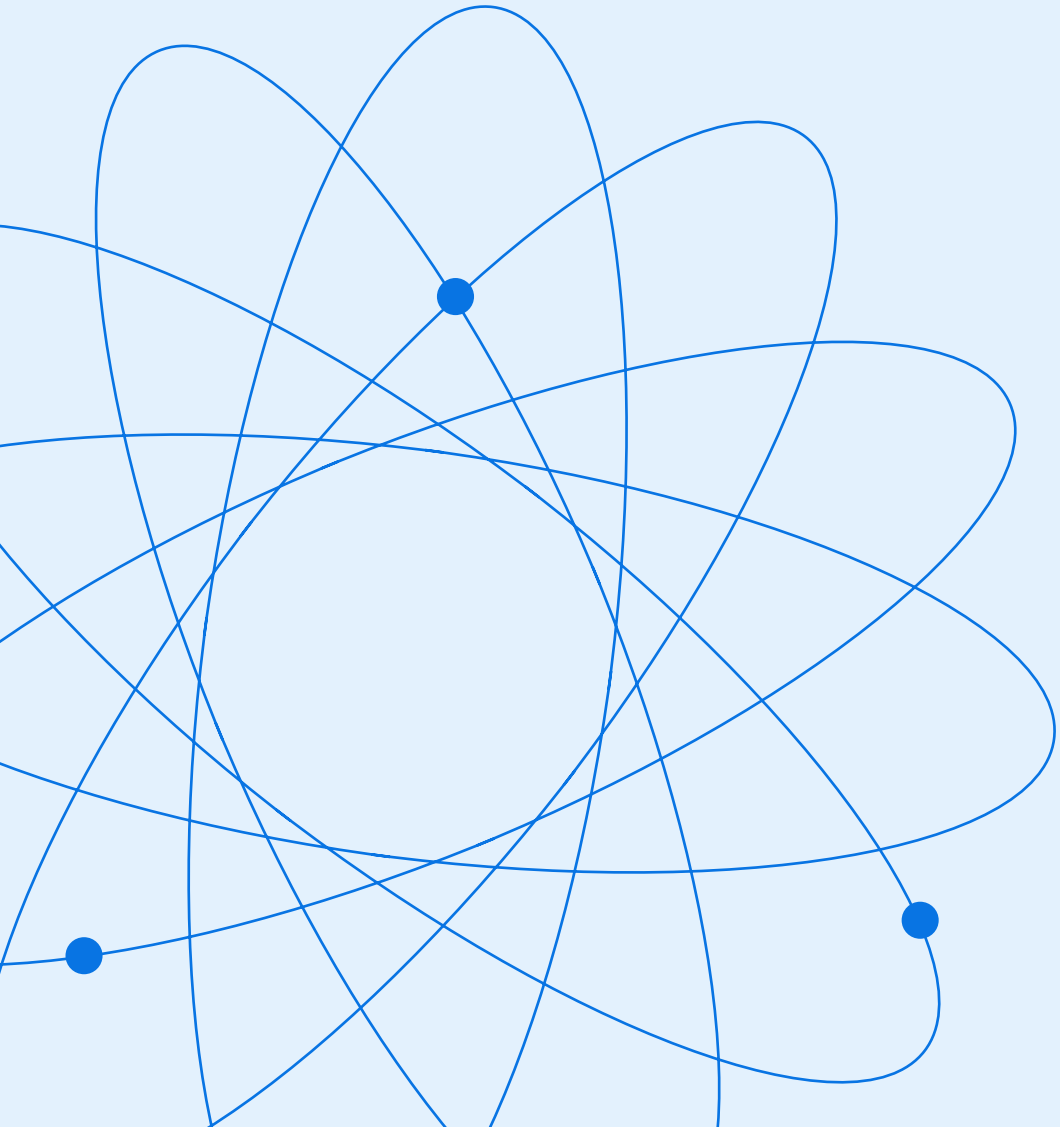
- 本規範を読み、理解し、遵守する
- 必須コンプライアンス研修を受講する
- 不正行為または違反の疑いがある場合は、確信がなくても報告する
- 調査に全面的に協力する
- どうすればよいか迷ったときは相談する

上司に求められる追加の責務

- 把握した懸念事項（間接的に把握した場合を含む）に対処する
- 担当するチーム内で倫理について定期的に話し合う
- 当社の価値観を体現する意思決定を認める
- あらゆる行動において倫理的模範を示す
- 当社の価値観および行動規範を反映する意思決定を認め、促す

⚠ 責務を果たさなかった場合

責務を果たさなかった場合、解雇を含む懲戒処分および／または法的措置の対象となることがあります。本規範のいかなる規定も、法令違反の疑いについて国、連邦、州、または地方自治体の政府機関（適用法令に基づき認められた自主規制機関を含む）に通報すること、またはこれらの機関が実施する調査に参加することを禁止するものではありません。



第 2 章

一緒に働く仲間

認められている、尊重されている、活躍できると誰もが感じられる職場をつくる

すべては信頼から
一緒に働く仲間
市場において
資産および情報
当社における管理
私たちのコミュニティ
倫理ホットラインに懸念を報告する
連絡先

均等な雇用機会を提供する

雇用機会の均等を促進し、適用法に従い、職務上適格な従業員に対して合理的配慮を提供しましょう。あらゆる雇用上の決定は、職務上の客観的な基準に基づいて行いましょう。

あなたの役割

公平性を促進する

意思決定は、思い込みや偏見ではなく、資格・能力、実績、業務上のニーズに基づいて行いましょう。

合理的配慮を支える

申し出には真摯に対応し、合理的配慮が必要な場合は人事部門に相談しましょう。

相談する

合理的配慮または均等機会に関して疑問や懸念があるときは、人事部門に相談しましょう。

自問自答してみましょう

- この雇用に関する決定は、業務上の客観的な基準に基づいているだろうか？
- この決定は、個人的な思い込みや偏見の影響を受けていないだろうか？
- 合理的配慮に関する疑問について、人事部門に相談しただろうか？

関連方針リンク

人事グローバル方針

Ask HR

すべては信頼から
一緒に働く仲間
市場において
資産および情報
当社における管理
私たちのコミュニティ
倫理ホットラインに懸念を報告する
連絡先

インクルージョンとビロンギングを推進する

認められている、尊重されている、十分に力を発揮できると誰もが感じられる、インクルーシブ（包摂的）な職場づくりに取り組みましょう。
異なる経験や視点、アイデアや考え方を尊重しましょう。

あなたの役割

参加を促す

同僚が参加し、貢献し、安心して意見を述べられるよう促しましょう。

異なる視点を受け入れる

異なる経験や視点、アイデアや考え方を尊重しましょう。

ビロンギングを醸成する

尊重されている、認められている、活躍できると誰もが感じられるように、お互いに支え合いましょう。



当社は、従業員、管理職、請負業者、ベンダー、顧客、コンサルタント、来訪者など、関係者の立場を問わず、いかなるレベルにおいても、いかなる形態のセクシャルハラスメントも一切容認しません。現地の法令で定められる基準がこれより低い場合も、当社はより高い基準を自らに求めます。

セクシュアルハラスメントには、威圧的、敵対的、または不快な職場環境を生み出す望ましくない性的な言動や、昇給、昇進、職務の割り当て、雇用継続などの雇用上の決定を、性的な要求に応じることと結びつける言動が含まれます。

すべては信頼から
一緒に働く仲間
市場において
資産および情報
当社における管理
私たちのコミュニティ
倫理ホットラインに懸念を報告する
連絡先

互いを尊重し合う職場環境を推進する

当社は、差別、ハラスメント、いじめ、あるいは敵対的または不快な職場環境を生み出す言動を一切容認しません。こうした行動を「ただの冗談」として片付けることは認められません。ハラスメント、いじめ、威圧的な言動、差別など、個人の尊厳や人格を傷つける言動がない職場の維持に努めましょう。当社は、人種、肌の色、民族、宗教、性別、妊娠、性的指向、年齢、性自認または性表現、婚姻状況、出身国、市民権、障がい、退役軍人としての身分、または適用法により保護されるその他の属性に基づく差別を一切容認しません。

あなたの役割

認識する

嫌がらせ、威圧、屈辱、または不快感を与える恐れのある言動は、たとえそれが些細なものであっても認識しましょう。

行動に移す

抵抗がなければ率直に声を上げる、影響を受けた人を支える、または人事部門に報告するなどの対応をとりましょう。

模範を見せる

あらゆる場面で相手を尊重して行動し、職場において互いを尊重する環境づくりに貢献しましょう。

自問自答してみましょう

- この言動が自分や大切な人に向けられたとしても、問題ないと思えるだろうか？
- この言動は、敵対的、威圧的、または安心して働けない職場環境につながっていないだろうか？
- この言動について、声を上げたり、影響を受けた人を支えたり、または人事部門に報告すべきではないだろうか？

ケーススタディ

想定事例 1：仕事に関連する懇親会やイベントと不適切な発言

ある同僚が、他の同僚に対し、その人の尊厳を傷つけるような冗談や発言をしています。こうした言動を問題ないとして片付けないでください。冗談として言われたものであっても、声を上げる、または相談しましょう。

想定事例 2：排他的な言動

あるチームが、メンバーの一人をミーティングや仕事に関連する懇親会やイベント、またはチーム内のやりとりから一貫して排除しています。そのメンバーは孤立感や居心地の悪さを感じています。影響を受けている人と話すか、チームにその言動を問題として提起するか、または人事部門に報告してください。

想定事例 3：威圧的な言動

あなたは、ある管理職が、チームメンバーに対して攻撃的な言葉遣いをしたり、怒鳴ったり、威圧的な言動をしたりしているのを目にしました。こうした言動については、人事部門に直ちに報告してください。

すべては信頼から

一緒に働く仲間

市場において

資産および情報

当社における管理

私たちのコミュニティ

倫理ホットラインに懸念を報告する

連絡先

関連方針リンク

セキュリティインシデント報告書

グローバルセキュリティ・メールアドレス
電話番号：651-848-8836
チーム：Microsoft Teams

職場暴力防止方針

環境・健康・安全方針

倫理ホットライン

安全で安心でき、健康的な職場を維持する

規則を守り、リスクを早期に発見し、速やかに報告することで、安全で健康的な職場を維持しましょう。当社は、職場における暴力行為や暴力による脅迫を一切容認しません。トムソン・ロイターでは、職場における違法薬物の所持、使用、購入、販売または販売の試み、配布、製造、あるいは薬物の影響下にあることは一切認められていません。

また、オフィス勤務かリモートワークかを問わず、職場や業務遂行中、アルコール、処方薬、その他の判断力や身体機能に影響を及ぼす物質の乱用または不適切な使用も認められていません。

あなたの役割

被害を防止する

安全に関するルールや手順を守り、危険を見極め、被害が及ぶことを防止しましょう。

セキュリティ慣行に従う

入退館管理のルールを守り、安全手順に従い、訓練に参加しましょう。

速やかに報告する

危険な状態や脅威、不審な人物や行動に気が付いたら、速やかに報告しましょう。

自問自答してみましょう

- 職場で気づいた危険な状態や危険、セキュリティ上のリスクはないだろうか？
- 報告すべき脅威、不審な活動、または職場のセキュリティに関わる懸念はないだろうか？
- 緊急時の手順を理解しているだろうか？定められた訓練に参加しただろうか？

すべては信頼から

一緒に働く仲間

市場において

資産および情報

当社における管理

私たちのコミュニティ

倫理ホットラインに懸念を報告する

連絡先

関連方針リンク

セキュリティインシデント報告書

グローバルセキュリティ・メールアドレス
電話番号：651-848-8836
チーム：Microsoft Teams

職場暴力防止方針

環境・健康・安全方針

倫理ホットライン

安全で安心でき、健康的な職場を維持する（続き）

ケーススタディ

想定事例 1：ふさがれた非常口

あなたは、ふさがれている非常口、または職場での危険に気づきました。他の人が対応するだろうと決めつけてはなりません。速やかに報告し、現地の安全手順に従ってください。

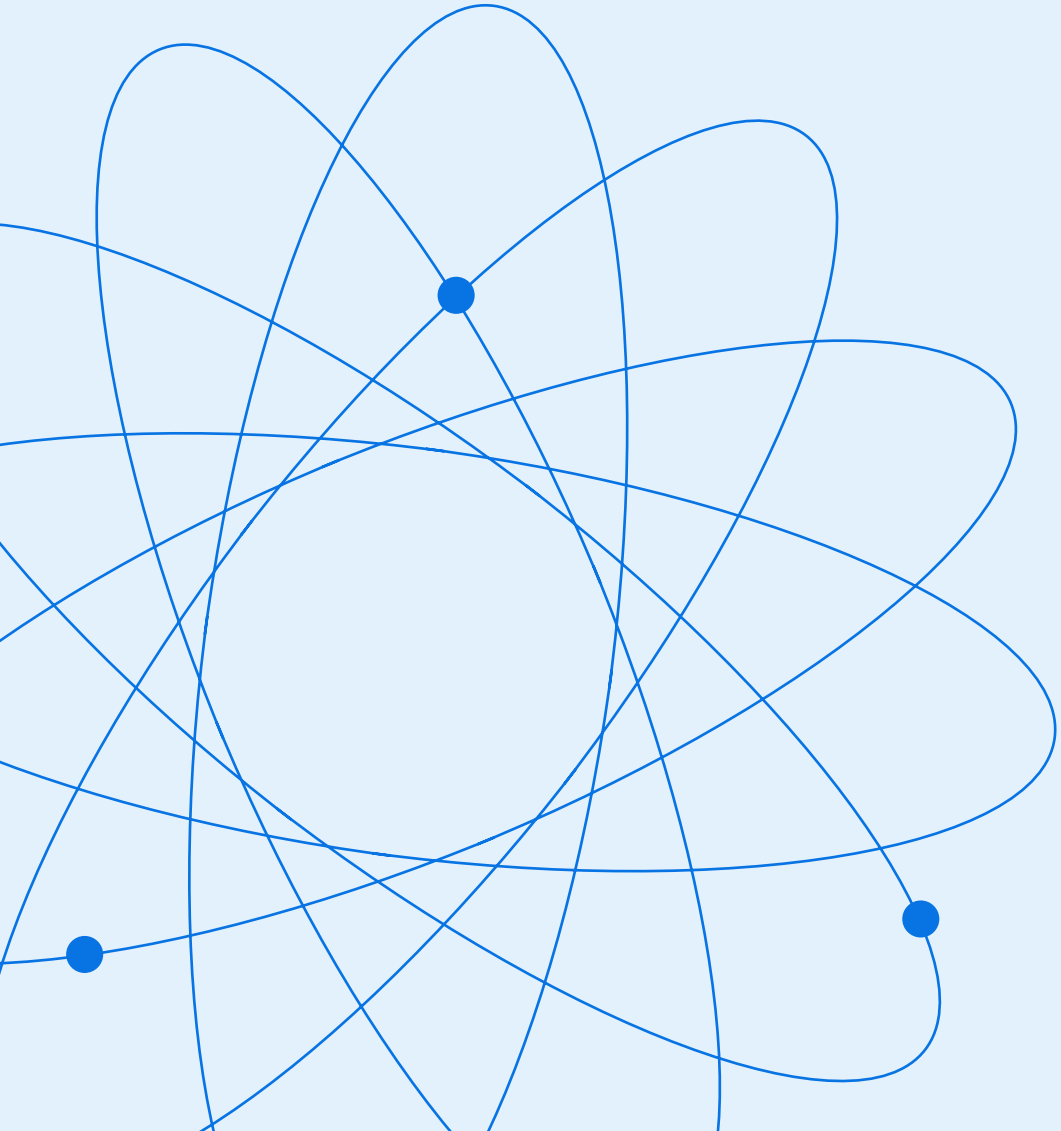
想定事例 2：ID カードの貸与・代理打刻

あなたは、ある同僚が、自分のオフィス用 ID カードを別の社員に渡し、代わりにカードリーダーに通してもらうことで、実際にはオフィスにいないのに在席しているように見せかけていると言っているのを聞きました。これは、単なる無害な抜け道ではありません。これは出勤記録の改ざんにあたり、「オフィス勤務復帰方針」に違反し、組織全体が従うことを求められている制度の信頼性を損ないます。もしこのような状況に直面した場合は、参加せず、声を上げてください。



詳しい説明が必要ですか？

上司またはレジリエンスチームに相談してください。
生命、身体の安全、または財産に対する差し迫った危険がある場合は、まず緊急サービスに連絡してください。



第 3 章

市場において

グローバルマーケットで公正かつ
誠実に競争する

すべては信頼から
一緒に働く仲間
市場において
資産および情報
当社における管理
私たちのコミュニティ
倫理ホットラインに懸念を報告する
連絡先

グローバル市場で取引する

グローバル市場では、責任を持って行動し、成果とイノベーションによってビジネスを勝ち取りましょう。贈収賄、腐敗行為、マネーロンダリングを防止しましょう。適用される制裁法または制裁プログラムを回避または迂回しようとする行為に参加したり、助長したりしてはなりません。

あなたの役割

贈収賄を防止する

ビジネス上の意思決定に不当な影響を及ぼす恐れのある賄賂、不適切な支払い、または金銭その他の利益は、直接的・間接的を問わず、決して申し出、要求、供与または収受してはなりません。

国際貿易リスクを管理する

制裁、輸出規制、禁輸措置、および政府の公式規則を遵守しましょう。

パートナーを知る

デューディリジェンスを行い、危険信号や不審な行動があれば報告しましょう。

ファシリテーションペイメントは、その地域では一般的な慣行でも行ってはなりません。支払いを求められた場合、Enterprise Compliance に速やかに連絡してください。

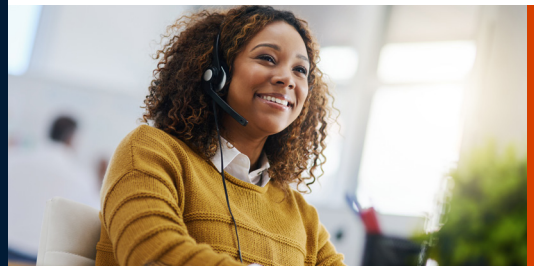
自問自答してみましょう

- 真の価値によって競争し、適用されるすべての競争法を遵守しているだろうか？
- 説明は事実に基づき、契約には透明性があり、コミュニケーションは誠実だろうか？
- この状況は、指示を必要とする競争法または市場での取引行為に関する懸念につながらないだろうか？

ケーススタディ

想定事例：非公式な支払の要求

ある税関職員が、機器または書類を引き渡すために少額の非公式な支払いを求めています。ファシリテーションペイメントは、その地域では一般的な慣行でも行ってはいけません。直ちに相談してください。



詳しい説明が必要ですか？

Enterprise Compliance（ECHelp@thomsonreuters.com）に連絡してください

関連方針リンク

- 贈収賄・腐敗行為防止方針
- イントラネットの「貿易および制裁管理」を参照する
- TR 貿易および制裁コンプライアンス方針

すべては信頼から
一緒に働く仲間
市場において
資産および情報
当社における管理
私たちのコミュニティ
倫理ホットラインに懸念を報告する
連絡先

贈答品および接待（G&E）

顧客、ビジネスパートナー、ベンダー、その他第三者との間における贈答品または接待の提供／収受は、適切かつ透明性があり、当社の基準に沿っている場合に限って認められます。判断は慎重に行い、贈収賄や腐敗行為、または評判を損なうリスクを防止しましょう。詳細要件は、「贈収賄・腐敗行為防止方針」を参照してください。

あなたの役割

G&E がガイドラインを満たしていることを確認する

- 正当な事業上の目的がある
- 透明性があり記録されている
- 適切であり相応している

禁止されている G&E

- 現金または現金同等のもの
- RFP 最中または交渉期間中の G&E
- 成人向けまたは不適切な接待

承認

- 上司は、チームメンバーからの G&E 承認申請を審査し、記録および承認に関する方針要件を遵守する必要があります。
- 政府職員との間の G&E の提供／収受については、コンプライアンスチームの事前承認を得てください。



関連方針リンク

贈収賄・腐敗行為防止

Enterprise Compliance

すべては信頼から
一緒に働く仲間
市場において
資産および情報
当社における管理
私たちのコミュニティ
倫理ホットラインに懸念を報告する
連絡先

贈答品および接待（続き）

自問自答してみましょう

- あらゆる G&E は「新聞一面テスト」を満たしている必要があります。詳細が主要新聞の一面に掲載された場合、あなたまたは会社は恥ずかしく感じるだろうか。答えが「はい」の場合、提供または収受してはいけません。
- タイミングとビジネス上の背景：G&E は、取引、入札、交渉、契約更新など、重要なビジネス上の局面で提供、要請、または収受されていないだろうか？
- G&E を要求または約束しているにもかかわらず、その事実を秘密にしておくよう求められていないだろうか？ G&E の頻度は妥当だろうか？

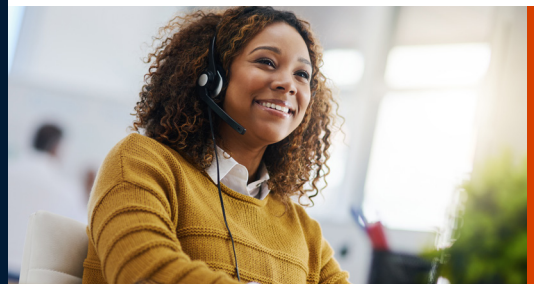
ケーススタディ

想定事例 1：顧客からの接待の申し出

あなたは、重要な顧客から、豪華なリゾート休暇への招待、または注目度の高いスポーツイベントの高価なチケットを提供されました。ビジネス上の意思決定に関して不適切と考えられる可能性があるため、この申し出および断ったことを ECHelp@thomsonreuters.com または倫理ホットラインへ報告してください。

想定事例 2：候補ベンダーによるタブレットの提供

あなたは、ある業界見本市で、賞品が当たるチャンスのあるアンケートに回答しました。ブースのスタッフは、トムソン・ロイターはまだ顧客ではないと言い、調査に使用されていた中古のタブレットをあなたに提供しようとします。タブレットは廃棄する予定だったといいます。この申し出を受け入れてはなりません。このタブレットには商業的価値があり、ベンダーの申し出は将来のビジネスに影響を与えることを意図したもと見なされる可能性があります。この申し出および断ったことを ECHelp@thomsonreuters.com または倫理ホットラインへ報告してください。



詳しい説明が必要ですか？

上司および Enterprise Compliance に相談してください
ECHelp@thomsonreuters.com

すべては信頼から
一緒に働く仲間
市場において
資産および情報
当社における管理
私たちのコミュニティ
倫理ホットラインに懸念を報告する
連絡先

利益相反を防止する

実際の利益相反、利益相反となる恐れのある状況、または利益相反と見なされる恐れのある状況を認識・開示・適切に管理することで、トムソン・ロイターの最善の利益のために行動しましょう。個人的な利益や人間関係、社外での事業活動が意思決定に不適切な影響を及ぼさないようにしましょう。すべての意思決定には説明責任が伴います。

あなたの役割

利益相反を認識する

個人的、金銭的、人間関係、または社外での事業に関わる利益相反を認識しましょう。

速やかに開示する

実際の利益相反、利益相反となる恐れのある状況、または利益相反と見なされる恐れのある状況について、Enterprise Compliance に開示しましょう。

指示に従う

指示に従い、状況に変化があった場合は開示内容を更新しましょう。

自問自答してみましょう

- この状況は、判断または客観性に影響する、または影響するように見えないだろうか？
- この意思決定によって、自分や家族、親しい人が利益を受けることはないだろうか？
- この件をすすめる前に、この状況を開示し、必要な指示を受けただろうか？

ケーススタディ

想定事例 1：ベンダー候補で働く友人

ベンダー選択の支援をしていたところ、候補社の一社で親しい友達が働いていることが判明しました。この状況は、あなた自身は客観性を保つことができると考えていても、利益相反と見なされ、公平性に疑問が投げかけられる可能性があります。選定に関与する前に、Enterprise Compliance に友人との関係について開示してください。早期に開示することで、あなた自身、トムソン・ロイター、そして選定の公正性を守ることができます。

想定事例 2：社外での事業活動

あなたは副業で小規模なオンラインビジネスを経営しており、勤務時間中に、注文の管理、顧客との連絡、配送ラベルの印刷のため、トムソン・ロイターのノートパソコン、会社のメールアカウント、オフィスのプリンターを時折利用しています。大したことではないように思えます。作業は簡単であまり時間もかかりません。

トムソン・ロイターの機器やシステム、勤務時間を個人的な営利活動に利用することは、会社資源の適切な利用ではありません。これは、トムソン・ロイターが費用を負担する資産の消費であり、もし個人の事業活動を通じて未承認ソフトウェアや外部との連絡がトムソン・ロイターのシステムに持ち込まれた場合、潜在的なセキュリティ上の脆弱性を生じさせる恐れがあります。また、あなたの個人的な利益とトムソン・ロイターに対する義務との境界線が曖昧になります。

関連方針リンク

贈収賄・腐敗行為防止方針

すべては信頼から
一緒に働く仲間
市場において
資産および情報
当社における管理
私たちのコミュニティ
倫理ホットラインに懸念を報告する
連絡先

利益相反を防止する（続き）

ノートパソコン、メールアカウント、ソフトウェアライセンス、ネットワークアクセス権など、会社の IT リソースは業務目的で提供されています。付随的な私的利用は一般的に容認されますが、個人事業の運営や支援のために利用することは許可されていません。境界について疑問がある場合は、上司または Enterprise Compliance に相談しましょう。



詳しい説明が必要ですか？

社外事業活動においては、以下を遵守してください。

1. 利益相反を防止するため、トムソン・ロイターの製品やサービスと類似または競合する社外事業活動に従事しない。
2. 利益相反が生じる恐れのある社外での雇用または事業活動に従事するときは、上司および Enterprise Compliance に報告し、事前に承認を得る。

ECHelp@thomsonreuters.com に相談してください

3. トムソン・ロイターにおける職務上の責任を果たし、社外での事業活動が業務に支障をきたさないようにする。会社のリソースは利用しない。
4. トムソン・ロイターにおける自身の役割について、外部の組織に対して明確に示す。
5. トムソン・ロイターの関係者やビジネスパートナーに対し、自身の社外での事業活動に参加を募らない。

トムソン・ロイターを代表して弁護士業務を行う

法務部門より権限を与えられた場合、または法務部門の指示および監督下で業務を行う場合に限って、トムソン・ロイターを代表して法的助言を行う、または弁護士業務を行ってください。

当該管轄区域において弁護士としての業務を行う資格を有し、法務部門から明示的に権限を与えられている場合を除き、法的助言を行ったり、法律顧問として対応したりしてはなりません。

外国政府の利害からの独立

米国において、当社はトムソン・ロイターの商業活動を支援する活動のみを行っており、外国政府または外国の政党の公益もしくは政治的利益を直接的に促進する活動を行っていないため、外国代理人登録法（FARA）の適用対象とはなりません。米国において政治的性質を持つ活動を行う場合、その活動は、トムソン・ロイターの正当な商業、産業または金融業務の推進に寄与する範囲に限り認められます。

すべては信頼から
一緒に働く仲間
市場において
資産および情報
当社における管理
私たちのコミュニティ
倫理ホットラインに懸念を報告する
連絡先

政府機関とビジネスを行う

公共部門の顧客、政府機関、および政府職員と取引を行うときは、公正に競争し、適用される政府契約に関する規則を遵守しましょう。

あなたの役割

公共部門の規則・ルールに従う

連邦調達規則および類似の政府調達に関する規制やルールに従いましょう。

不当な利益を避ける

非公開の調達情報を入手、利用または共用してはなりません。

早めに相談する

通常とは異なる、またはリスクの高い政府関連業務を行う場合は、事前に相談してください。

自問自答してみましょう

- 政府による正式な調達に関するすべての業務は、該当するトムソン・ロイターの事業部門内で、権限を付与された政府契約・提案担当者が処理しているだろうか？
- 正式な入札手続き期間中および契約締結後まで、政府の顧客との連絡窓口は、権限を付与された政府契約・調達担当のみであることを理解しているだろうか？
- 「政府契約コンプライアンス方針」を遵守しているだろうか？

ケーススタディ

想定事例：非公開の調達情報

一緒に仕事をしている政府職員から、ある競争入札に関する詳細を明かされました。これは一般には公開されていない情報で、調達プロセスでトムソン・ロイターにとって優位になる可能性があります。役に立つアドバイスに見えるかもしれませんが、この情報を利用することは重大な間違いです。非公開の調達情報に基づいて行動することは不正に該当する可能性があり、トムソン・ロイターに重大な法的責任を負わせるだけでなく、当該政府職員自身にも法的リスクをもたらす恐れがあります。会話を終了し、そうした情報を受け取ることはできない旨を明確に伝え、自分から情報を求めたのではない、またその情報を利用していない場合も、直ちに法務部門または Enterprise Compliance に報告してください。

関連方針リンク

贈収賄および腐敗行為防止方針
政府契約コンプライアンス方針

すべては信頼から
一緒に働く仲間
市場において
資産および情報
当社における管理
私たちのコミュニティ
倫理ホットラインに懸念を報告する
連絡先

公正かつ誠実に取引する

オープンに、積極的かつ公正な競争を行うとともに、顧客、競合他社、サプライヤー、ビジネスパートナーなどの関係者に誠実に敬意をもって接しましょう。公正な商慣行に従って事業活動を行い、違法な競争制限行為や談合を防止しましょう。

競争法を遵守し、真の価値によって競争しましょう。事実に基づく説明を行い、透明性の高い契約を結び、誠実なコミュニケーションを心がけましょう。

あなたの役割

公正に競う

競争法を遵守し、真の価値によって競争しましょう。

コミュニケーションは誠実に

事実に基づく説明を行い、透明性の高い契約を結び、誠実なコミュニケーションを心がけましょう。

相談する

競争法や市場での取引行為に関して懸念が生じる恐れがある場合は、行動に移す前に相談しましょう。

自問自答してみましょう

- 真の価値によって競争し、適用されるすべての競争法を遵守しているだろうか？
- 説明は事実に基づき、契約には透明性があり、コミュニケーションは誠実だろうか？
- この状況は、指示を必要とする競争法または市場での取引行為に関する懸念につながらないだろうか？

ケーススタディ

想定事例：競合他社との会話

業界イベントで、ある競合他社が、価格設定、利益率、販売地域、顧客などについて話し始めました。直ちに会話を終了し、そのような話題には関わることができない旨を明確に伝え、法務部門または Enterprise Compliance に報告してください。

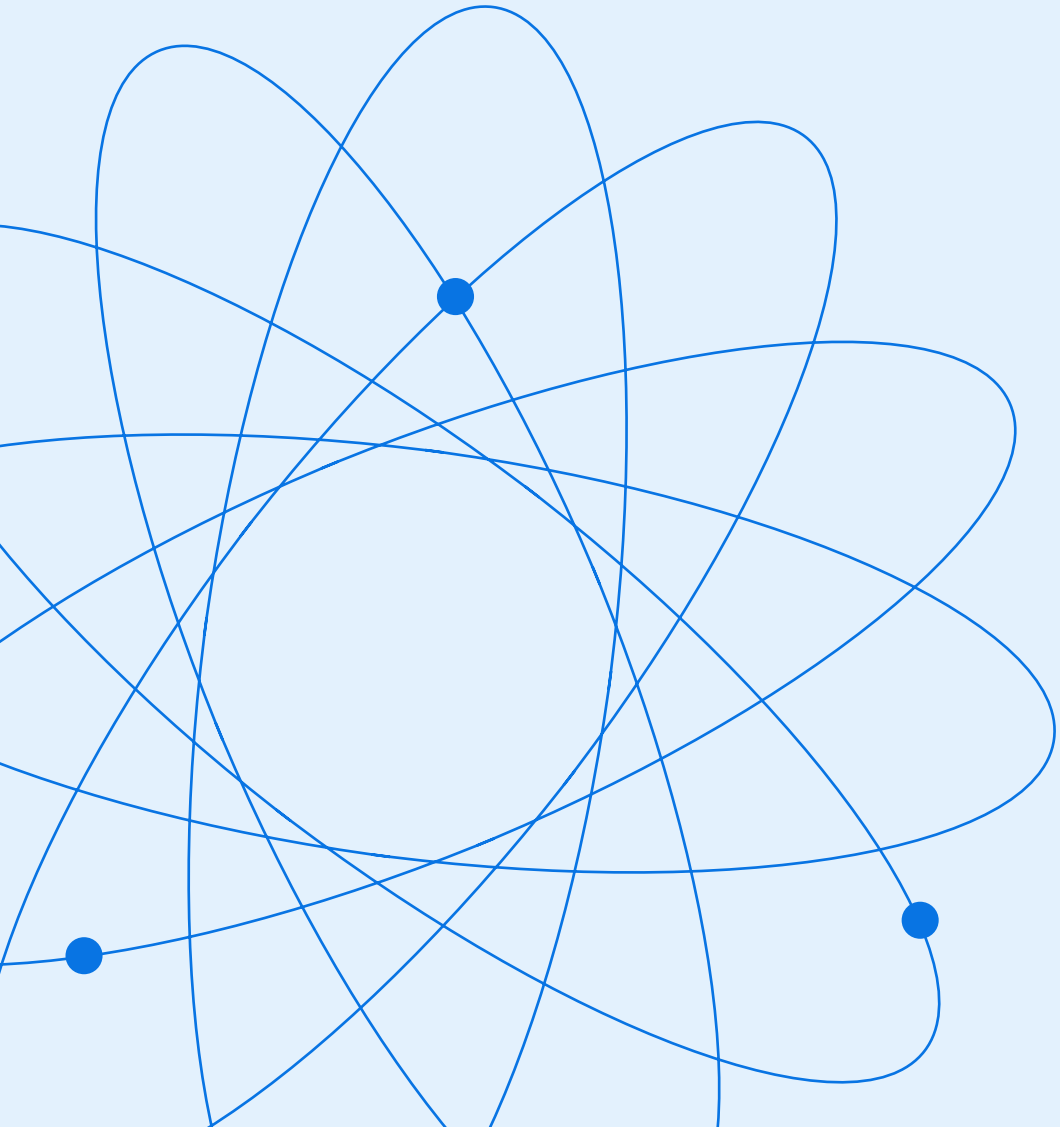


詳しい説明が必要ですか？

価格カルテルを行わない：競合他社と価格の設定や入札を操作する取り決めを行ってはいけません。
機密を保持する：競合他社に機密性の高い事業情報を開示してはなりません。
真の価値で競争する：マーケティング活動は誠実に行い、透明性の高い契約を結んでください。
公正な商慣行：排他的な取引によって競合他社を締め出してはなりません。

関連方針リンク

競合インテリジェンス、反トラスト法・競争法、より良い文書の作成



第 4 章

資産および情報

会社の資産、知的財産、機密情報を保護する

すべては信頼から
一緒に働く仲間
市場において
資産および情報
当社における管理
私たちのコミュニティ
倫理ホットラインに懸念を報告する
連絡先

AI の責任ある利用

AI の設計、開発、展開および利用は、倫理的に責任を持って、「信頼の原則」および「データ・AI 倫理原則」に沿って行いましょう。

あなたの役割

責任を持って AI を利用する

AI の利用または展開にあたっては、承認された AI 方針を遵守しましょう。

データとプライバシーを保護する

AI を利用するときは、機密情報および個人情報を保護しましょう。

人間が責任を持つ

AI のアウトプットを利用する前に、人間が内容をレビューし、リスクがある場合は報告しましょう。

自問自答してみましょう

- この活動で承認された AI ツールまたは AI ソリューションを利用しているだろうか？
- AI を利用する前に、機密情報、個人情報、顧客情報および企業情報を適切に保護しただろうか？
- AI のアウトプットについて、正確性、公平性および信頼性を確認し、人間による適切なレビューを行っただろうか？



ケーススタディ

想定事例 1：AI ツールにおける顧客情報

あなたは、ある案件を要約するため、AI ツールに顧客情報を入力したいと考えています。開始前に、ツールが承認されているか、その目的に使用してもよい情報か確認してください。当該ツールが当社のデータ保護方針に準拠していることを確認してください。一般的に、顧客データを外部の AI ツールに入力することは許可されていません。

想定事例 2：未承認 AI ツールにおけるトムソン・ロイターのデータの利用

あなたは、プロジェクトを大幅に簡易化してくれる無料の AI ツールを見つけました。自分の端末にツールをダウンロードし、トムソン・ロイターのデータを読み込めば、数分で分析が完了します。問題は、効率ではなく、入力された情報がどうなるかということです。トムソン・ロイターのデータを未承認の外部 AI ツールにアップロードした場合、その情報は当社の管理外の場所で保存、処理、またはアクセス可能となる恐れがあり、結果として、顧客の機密情報が漏洩し、当社に深刻な法的リスクや評判上のリスクをもたらす可能性があります。トムソン・ロイターのデータを外部 AI ツールで利用する場合は、デバイスに関わらず、事前承認が必要です。

関連方針リンク

データ・AI 倫理原則
ロイター記者向け AI ガイドライン
ロイターにおける AI
ロイターの倫理と基準
データおよびモデルガバナンス
ガバナンス方針および基準
AI 関連全般

すべては信頼から

一緒に働く仲間

市場において

資産および情報

当社における管理

私たちのコミュニティ

倫理ホットラインに懸念を報告する

連絡先

知的財産を尊重する

法令に従い、責任を持って情報やコンテンツを利用、作成、共有することで、トムソン・ロイターの知的財産を保護し、第三者の知的財産を尊重しましょう。法令で認められる範囲において、在職期間中に当社の業務に関連して、もしくは当社のリソースを用いてあなたが作成した知的財産については、作成場所（オフィス、自宅その他を問わない）に関わらず、その知的財産権はトムソン・ロイターに帰属するものとします。

あなたは、当該著作物に関してあなたが有する著作者人格権（著作者としての表示を受ける権利および著作物の完全性を保持する権利を含む）を、法令で認められる範囲において放棄し、またはトムソン・ロイターに移転するものとします。これにより、トムソン・ロイターは当該著作物について必要な措置を講じることができるものとします。

あなたが生み出した発明、プロセス、意匠その他の特許対象となる成果については、速やかに開示し、会社がそれらを保護するための措置を講じられるようにしてください。会社が保護措置を講じるまでは、こうした成果を機密として扱い、第三者に開示しないでください。

あなたの役割

当社の知的財産を保護する

トムソン・ロイター関連の発明、ソフトウェア、コンテンツ、成果物を開示してはなりません。

第三者の権利を尊重する

第三者の知的財産は、適切な許可または承認を得た場合に限って使用しましょう。

情報を倫理的に収集する

競合インテリジェンスは、合法的かつ倫理的に収集しましょう。

ケーススタディ

想定事例 1：発明の開示

あなたは、トムソン・ロイターの業務に関連して、アイデア、プロセス、意匠、またはソフトウェアツールを開発しました。会社としてその知的財産をどのように守るか、また発明内容からどのように利益が得られるかを判断できるように、速やかに開示しましょう。

想定事例 2：社内外にまたがる知的財産

あなたは、勤務時間外にトムソン・ロイター以外の開発プラットフォームを利用しています。あなたはトムソン・ロイターのプロジェクト向けにソフトウェアを開発しており、一部のコードを連携させれば、外部プラットフォームとトムソン・ロイターの双方にとって有益ではないかと考えています。トムソン・ロイターのコードやデータを外部サイトへ転載することは、知的財産権の侵害にあたります。トムソン・ロイターの知的財産を複製または転載する前に、たとえそれが良いアイデアのように思える場合でも、上司および法務部門に連絡し、トムソン・ロイターの知的財産に関する指針について確認してください。

関連方針リンク

競合インテリジェンス

法務部門

サポートが必要な場合は、法務部門または Enterprise Compliance に相談しましょう

すべては信頼から
一緒に働く仲間
市場において
資産および情報
当社における管理
私たちのコミュニティ
倫理ホットラインに懸念を報告する
連絡先

関連方針リンク

情報セキュリティ方針および基準
データセキュリティ・データ分類基準
情報セキュリティハンドブック
プライバシーオフィス方針および手順
プライバシーガイドライン
データ主体請求書式
ジャーナリズムハンドブック
サポートが必要な場合は、情報セキュリティ部門またはプライバシーオフィス法務窓口に相談してください

機密情報とデータプライバシーを保護する

機密情報および個人情報は、責任を持って安全に収集、利用、共有、保管、破棄し、保護しましょう。

あなたの役割

情報を保護する

情報は、許可された方法で分類、保存、アクセス、共有しましょう。

個人情報を合法的に管理する

個人情報は、法令に従い、認められた業務上の必要性に基づいて管理しましょう。

インシデントを速やかに報告する

データ侵害、デバイスの紛失、不適切なアクセスが発生した場合は、速やかに報告しましょう。

自問自答してみましょう

- この情報にアクセスする、またはこの情報を共有する正当な業務上の必要性があるだろうか？
- 情報を機密性に従って正しく分類し、保護しただろうか？
- この行為は、個人情報、情報プライバシーに関する請求、データ侵害、または情報セキュリティ上のリスクに関係しているだろうか？

ケーススタディ

想定事例 1：顧客ファイルの共有

あなたは、ある顧客ファイルを同僚に送りたいと考えています。ファイルを共有する前に、ファイルの分類、業務上の必要性、許可された経路、およびアクセス権限を確認してください。受領者に情報へのアクセス権限があるか確認してください。

想定事例 2：データ侵害

あなたは、ラップトップを紛失した、機密情報を間違った受領者に送付した、または不正アクセスの疑いに気づきました。インシデントに迅速に対応して損害を軽減できるよう、直ちにトムソン・ロイターに報告してください。インシデントについてセキュリティに報告してください。

すべては信頼から

一緒に働く仲間

市場において

資産および情報

当社における管理

私たちのコミュニティ

倫理ホットラインに懸念を報告する

連絡先

関連方針リンク

情報セキュリティ方針および基準

データセキュリティ・データ分類基準

情報セキュリティハンドブック

プライバシーオフィス方針および手順

プライバシーガイドライン

データ主体請求書式

ジャーナリズムハンドブック

サポートが必要な場合は、情報セキュリティ部門またはプライバシーオフィス法務窓口に相談してください

機密情報とデータプライバシーを保護する（続き）

想定事例 3：顧客情報へのアクセス請求

あるお客様が、自身の個人情報へのアクセス、訂正、削除、またはその利用の停止を請求しています。データ主体請求フォームをご利用いただくようご案内してください。お客様からの依頼について疑問がある場合は、プライバシーオフィスに連絡し、追加の指示受けてください。

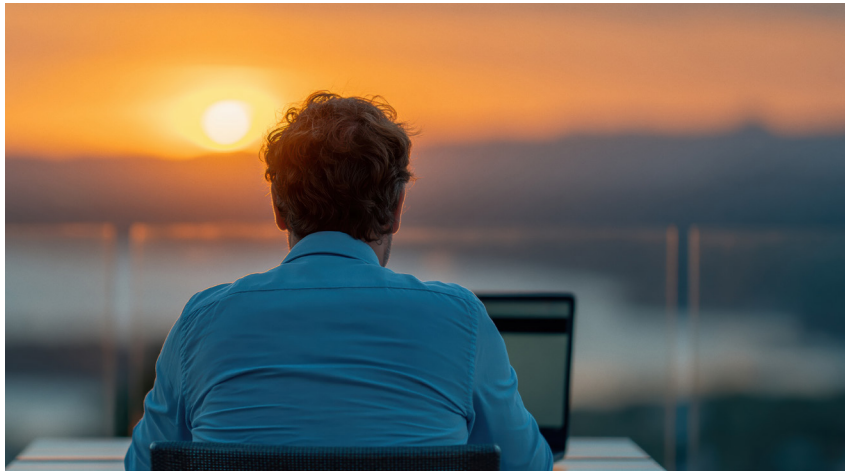
想定事例 4：社内プラットフォームの不適切な利用

のんびりとした午後、あなたと同僚数人は、トムソン・ロイターの社内メッセージングプラットフォームを使って、ミームを共有したり、上司について冗談を言ったり、ニュース等で物議を醸している政治的な話題について議論したりしています。

一見、どこのオフィスでもありそうな、悪意のない職場での冗談のように見えます。

社内メッセージングプラットフォームは会社のシステムであり、プラットフォームを通じて行われる送信はすべて業務記録です。不適切、不快、または業務上ふさわしくないメッセージは、削除しても完全に消えるわけではなく、復元・確認される可能性があり、調査、法的手続き、または懲戒手続きにおいて使用されることがあります。

ハラスメント、差別、または互いに尊重し合う職場環境に関する当社方針に違反する内容は、会議室で許容されないのと同様に、チャット上でも許容されません。社内コミュニケーションプラットフォームは、業務で利用するためのものです。コミュニケーションにおいては常にプロフェッショナルな態度を心がけ、送信ボタンを押す前に、そのメッセージが人事部門や上司、あるいは経営陣の目に触れても気まずく感じないか自問してみてください。



すべては信頼から
一緒に働く仲間
市場において
資産および情報
当社における管理
私たちのコミュニティ
倫理ホットラインに懸念を報告する
連絡先

インサイダー取引

重要な非公開情報は適切に保護し、これを利用または共有したり、その情報に基づいて他者に取引を勧めたりしてはなりません。

あなたの役割

インサイダー情報を保護する

重要な非公開情報は機密として扱い、権限のない人と共有してはなりません。

取引しない／取引を勧めない

重要な非公開情報を保有している場合は、自ら取引したり、他者に取引を勧めたりしてはなりません。

まず相談する

その情報が重要かまたは非公開か不明確な場合は、取引する前に法務部門に相談してください。

未公表の業績、見通し、または重要な事業取引については、公表されるまでは共有してはなりません。

ケーススタディ

想定事例：未公表の業績

あなたは、未公表の業績、見通し、または重要な事業取引について知りました。その情報が公表されるまでは、取引したり、許可された経路以外でその情報について話したりしてはなりません。これは、他社の情報に関しても同様に適用されます。



詳しい説明が必要ですか？

情報が「重要」かつ「非公開」かどうかは、個々の事実や状況によって異なります。重要な情報とは、一般に公開された場合、有価証券の市場価格または価値に大きな変化を生じさせる、または重大な影響を及ぼすことが合理的に予想される情報です。また、合理的な投資家の投資判断に重大な影響を及ぼす情報も、重要な情報です。非公開情報とは、プレスリリース、ウェブサイトへの掲載、有価証券報告書、株主への配布、メディアによる広範な報道など、正式な会社の発表を通じて一般に知られておらず、入手できない情報です。

法務部門：詳細については、法務部門に問い合わせてください。

関連方針リンク

インサイダー取引方針
法務部門

すべては信頼から
一緒に働く仲間
市場において
資産および情報
当社における管理
私たちのコミュニティ
倫理ホットラインに懸念を報告する
連絡先

情報およびコミュニケーションシステムを責任を持って利用する

トムソン・ロイターの情報、通信、テクノロジー、およびコラボレーションシステムは、責任を持って、安全に、かつ適切な業務目的にのみ使用してください。

あなたの役割

システムを適切に利用する

会社のシステムは、業務上の必要性に応じて適切に利用しましょう。

アクセス権とデータを保護する

認証情報、デバイス、データ、およびアクセス権を保護しましょう。

インシデントを迅速に報告する

フィッシング、デバイスの紛失、不正使用、またはセキュリティインシデントが発生した場合は、直ぐに報告してください。

適用される法令で認められる範囲において、トムソン・ロイターは、トムソン・ロイターが所有または提供する情報、通信、技術、またはインフラの利用について監視および記録する権利を留保します。

ケーススタディ

想定事例：不審なリンク

あなたは、送信者がトムソン・ロイターの IT 部門のように見える、セキュリティ更新に伴うログイン認証情報の確認を要求するメールを受領しました。トムソン・ロイターのロゴも使われており、一見すると本物の正式なメールのように見え、緊急性を強調する内容です。あなたは、クリックする前に、差出人のメールアドレスが当社の標準的な形式と異なること、また、リンク先が見慣れないウェブサイトであることに気づきます。これは、認証情報を盗み出し、トムソン・ロイターのシステムにアクセスすることを目的としたフィッシング攻撃です。リンクをクリックしたり、認証情報を入力したり、メールを転送したりしないでください。社内のフィッシング通報ツールを使用して、直ちに報告してください。リンクをクリックしたり、情報を共有したりした場合は、直ちに IT セキュリティ部門連絡してください。迅速に対応することで、深刻なデータ漏洩を防止することができます。

関連方針リンク

情報セキュリティハンドブック
モバイル端末利用方針
データ漏洩防止（DLP）基準
デバイス管理基準
サポートが必要な場合は、情報セキュリティ部門またはグローバルサービスデスクに問い合わせてください

すべては信頼から
一緒に働く仲間
市場において
資産および情報
当社における管理
私たちのコミュニティ
倫理ホットラインに懸念を報告する
連絡先

当社の資産を保護する

会社の資産を適切に利用し、紛失、盗難、不正使用、破損、および無駄な使用から保護しましょう。

あなたの役割

責任を持って資産を利用する

会社の資産は、正当かつ許可された業務目的にのみ使用しましょう。

会社の財産を保護する

盗難、無駄な使用、破損、不正使用、および不正アクセスを防止しましょう。

紛失や不正使用を報告する

資産の紛失、盗難、不正使用、または破損が発生した場合は、速やかに報告しましょう。

ケーススタディ

想定事例 1：デバイスの紛失

あなたは、デバイスの紛失、機器の破損、不正アクセス、または盗難の疑いに気づきました。迅速に対応できるよう、速やかに懸念事項を適切なセキュリティ、IT、または管理部門の担当窓口に報告してください。

想定事例 2：AI ライセンスの不正利用および無断利用

友人から、トムソン・ロイターから提供されたソフトウェア、AI ツール、ライセンスまたはアクセス認証情報を利用させて欲しいと頼まれた、または、あなた自身がそれらをフリーランスの事業プロジェクトに利用することを検討している場合。

トムソン・ロイターから提供されるソフトウェア、AI ツール、ライセンス、またはアクセス認証情報は、同僚、友人、外部コンサルタントを含む第三者に共有または開示したり、あるいはアクセス権を付与したりしてはなりません。トムソン・ロイターから提供される AI ツールは、個人的なプロジェクト、フリーランスの仕事、社外での事業活動、またはトムソン・ロイターによって許可されている業務範囲外の目的に利用してはなりません。トムソン・ロイターの AI リソースへのアクセスは、許可された業務目的に厳格に限定されています。

関連方針リンク

グローバルセキュリティ
情報セキュリティ
IT ワークステーション方針



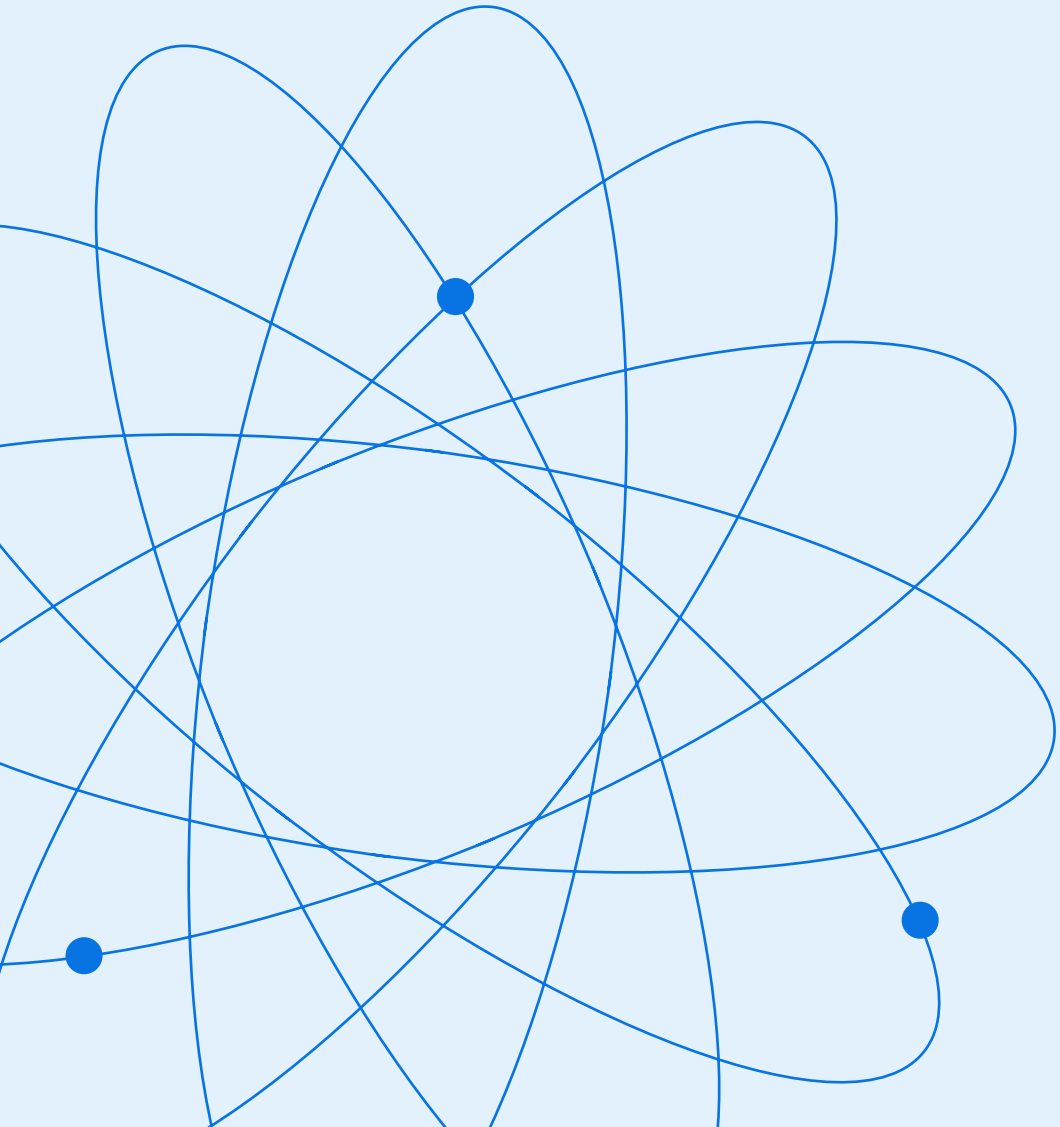
詳しい説明が必要ですか？

不正利用の疑いがある場合や、許可されていないアクセスの要求については、上司および ECHelp、または倫理ホットラインを通じて報告してください。情報セキュリティ部門、プライバシーオフィスまたは上司に連絡してください。

第 5 章

当社における管理

財務の完全性とコンプライアンスを維持する



すべては信頼から
一緒に働く仲間
市場において
資産および情報
当社における管理
私たちのコミュニティ
倫理ホットラインに懸念を報告する
連絡先

正確な財務記録

会社の会計方針、内部統制および法的要件に従い、正確かつ完全で、適時に記録され、十分な裏付けのある財務記録を維持する。

あなたの役割

正確に記録する

取引および報告書は、正確かつ完全に、期限通りに記録しましょう。

管理手続きに従う

会社の資金は適切に使用しましょう。記録の改ざんや隠蔽は決して行ってはなりません。

懸念事項を報告する

不正、税務、監査、または財務報告に関する懸念事項は、速やかに報告しましょう。

自問自答してみましょう

- この記録は、完全かつ正確で、適時に作成され、適切な書類によって裏付けられているだろうか？
- 必要な承認プロセス、内部統制、および開示手続きを遵守しているだろうか？
- この取引、支払い、請求書、または報告に関する問題は、不審または不正に見えないだろうか？

ケーススタディ

想定事例 1：異例の支払い要求

ある請負業者から、契約を結んだ会社とは別の会社を通じて支払いするよう依頼がありました。この依頼が担当管理職および財務チームによって審査、記録、承認されるまで、支払い処理は行わないでください。

想定事例 2：請求書の分割

あなたの承認限度額を超える請求書があります。承認基準を回避するために請求書を分割したり、別々の支払いを設定したりしてはいけません。承認権限を持つ適切な承認担当者に提出してください。

想定事例 3：顧客関係管理（CRM）の記録を正確に保つ

あなたは、四半期の目標達成へのプレッシャーから、成約日を前倒しする、取引額を水増しする、案件のステージを引き上げるなど、CRM の記録を改ざんします。記録は、四半期末後に修正するつもりです。しかし、CRM データは財務報告、財務予測、および経営判断の基盤です。

不正確な入力は、たとえ一時的でも、トムソン・ロイターの事業状況を誤って反映することになり、情報開示、リソース配分、および投資家向け報告に影響を及ぼす可能性があります。CRM の記録の改ざんは、正確な記録保持の義務に違反するものであり、解雇を含む懲戒処分の対象となる可能性があります。期待や希望ではなく、事実を記録してください。パイプラインデータを改ざんするよう圧力を受けた場合は、内部監査部門に報告してください。

関連方針リンク

開示管理および手順
不正行為の内部通報および調査プロトコル

すべては信頼から
一緒に働く仲間
市場において
資産および情報
当社における管理
私たちのコミュニティ
倫理ホットラインに懸念を報告する
連絡先

契約書の承認

契約書、提案書、発注書、および関連する約束事項は、承認済みで、適切な審査が行われた場合に限って署名しましょう。

あなたの役割

権限を確認する

自分の権限の範囲内でのみ、署名または承認を行いましょう。

契約外の約束をしない

承認されていない条件やサイドレターに同意してはなりません。

正確に文書化・記録する

契約書、発注書、承認書類は、完全かつ正確に管理しましょう。

契約条件を変更する電子メール、メモ、約束、またはサイドアグリーメントは、すべて所定の承認権限を持つ承認者の承認を得る必要があります。

ケーススタディ

想定事例：サイドレターの要求

ある顧客が、契約条件を変更する旨のサイドレターやメールによる確約を求めてきました。適切な審査と承認を経ずに、これらに同意してはなりません。契約審査の依頼について適切な担当者に相談してください。

関連方針リンク

グローバルサービス方針
政府契約コンプライアンス方針
署名権限者方針

すべては信頼から
一緒に働く仲間
市場において
資産および情報
当社における管理
私たちのコミュニティ
倫理ホットラインに懸念を報告する
連絡先

記録を管理する

適用される業務記録管理要件に従って、業務記録を作成、保存、保護、および廃棄しましょう。

あなたの役割

業務記録を適切に保管する

業務記録は、指定された場所に保管しましょう。

情報を保護する

業務記録を紛失、破損、または削除から保護しましょう。

法的保全義務を遵守する

法的保全の対象となる業務記録は、保全が解除されるまで保管しましょう。

自問自答してみましょう

- 業務記録は、承認された場所に保管し、破損や紛失から適切に保護しているだろうか？
- 法的保全の通知を受領したが、どの業務記録を保全しなければならないか理解しているだろうか？
- 業務記録を削除または廃棄する前に、法務部門に相談すべきだろうか？

訴訟または調査に関連する可能性がある文書は削除しないでください。詳細については、法務部門に問い合わせてください。

ケーススタディ

想定事例 1：法的保全通知

あなたは、ある案件について、関連するすべての電子メールおよび文書を保全するよう指示する法的保全通知を受領しました。関連する可能性のある業務記録の削除を中止し、現状のまま保存してください。業務上の必要に応じて新しい業務記録を作成することは構いませんが、保全対象となっている記録は一切削除してはいけません。

想定事例 2：日常的な業務記録の整理

あなたは、古いファイルの整理中に、もう古くなったと思われる業務記録を見つけました。削除する前に、法的保全義務または保存義務の対象となっていないか確認してください。保存義務について不明な点がある場合は、法務部門または該当する文書管理チームに相談しましょう。

関連方針リンク

業務記録・情報ガバナンス

すべては信頼から

一緒に働く仲間

市場において

資産および情報

当社における管理

私たちのコミュニティ

倫理ホットラインに懸念を報告する

連絡先

記録を管理する（続き）

想定事例 3：業務記録の不適切な変更

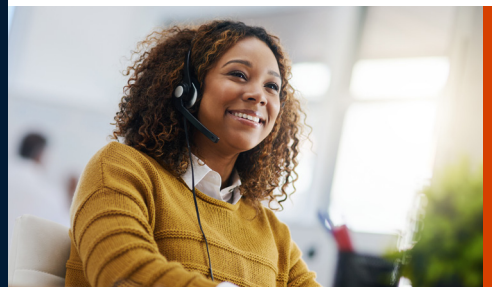
あなたは、ある顧客の紛争に関する書類を作成している最中に、以前に送信したメールに、トムソン・ロイターの評判を損なう可能性のある情報が含まれていることに気づきます。あなたは、誰も気づかないだろうと考え、メールをファイルする前に元のメールを編集します。

電子メールの改ざんは、自分のものであっても、業務記録の偽造にあたります。電子メールのメタデータやフォレンジック監査証跡によって、改ざんは頻繁に検出されます。記録を改ざんする行為は、元の電子メールに記載されていた内容そのものよりも、はるかに重大な結果を招く可能性があります。

業務上の通信内容を改ざん、削除、または事実と異なる内容にすることは、決して行ってはなりません。過去の通信が問題を引き起こしている場合は、上司または法務部門に直ちに相談してください。

関連方針リンク

業務記録・情報ガバナンス



詳しい説明が必要ですか？

業務記録の保存に関する質問や法的保全に関する疑問は法務部門に相談してください

すべては信頼から
一緒に働く仲間
市場において
資産および情報
当社における管理
私たちのコミュニティ
倫理ホットラインに懸念を報告する
連絡先

メディア、ソーシャルメディア、公の場で発言する

トムソン・ロイターに関してメディアの取材に応じたり、公の場で講演または発言をしたりする場合は、コミュニケーションチームの承認を得ており、自身の役割が明確な場合に限って行ってください。トムソン・ロイターに関する投稿を行う前に、ソーシャルメディアガイドラインを確認してください。

あなたの役割

承認を受けたスポークピープルを活用する

社外からの問い合わせは、コミュニケーションチームまたは権限を与えられたスポークピープルに取り次ぎましょう。

事前承認を得る

インタビュー、パネルディスカッション、講演、またはメディアへのコメントを行う場合は、事前にコミュニケーションチームから承認を得ましょう。

責任を持って投稿する

オンライン上では自身の役割を明示し、機密情報は保護しましょう。

ケーススタディ

想定事例 1：メディアに対する簡易なコメント

あるイベントで、あなたは、記者からその場での短いコメントを求められました。トムソン・ロイターを代表してコメントしてはなりません。まずコミュニケーションチームに連絡し、どのように対応すべきか、または正式なスポークパーソンに関与してもらうべきかどうか確認してください。

想定事例 2：ソーシャルメディアへの投稿

あなたは、リーガルリサーチ市場の動向についてソーシャルメディアに投稿し、自身の職務を通じて把握しているトムソン・ロイター（以下、TR とする）の非公開の製品方針に言及しました。あなたは、TR に勤務していることを開示しておらず、またその見解があくまで個人的なものであることも明示していません。このため、この投稿は、機密情報を漏洩させたり、読者にあなたの見解について誤解を与えたり、さらには会社の公式見解と誤認される恐れがあります。業界に関する話題について公の場で発言または活動する際は、TR へ所属していることを開示し、その見解が個人的なものであることを明示してください。また、機密情報、専有情報、または非公開情報は決して開示してはなりません。投稿内容が適切かどうか迷った場合は、投稿する前にコミュニケーションチームに相談してください。

関連方針リンク

ソーシャルメディアガイドライン
データ損失防止（DLP）基準
信頼の原則
コミュニケーションチーム



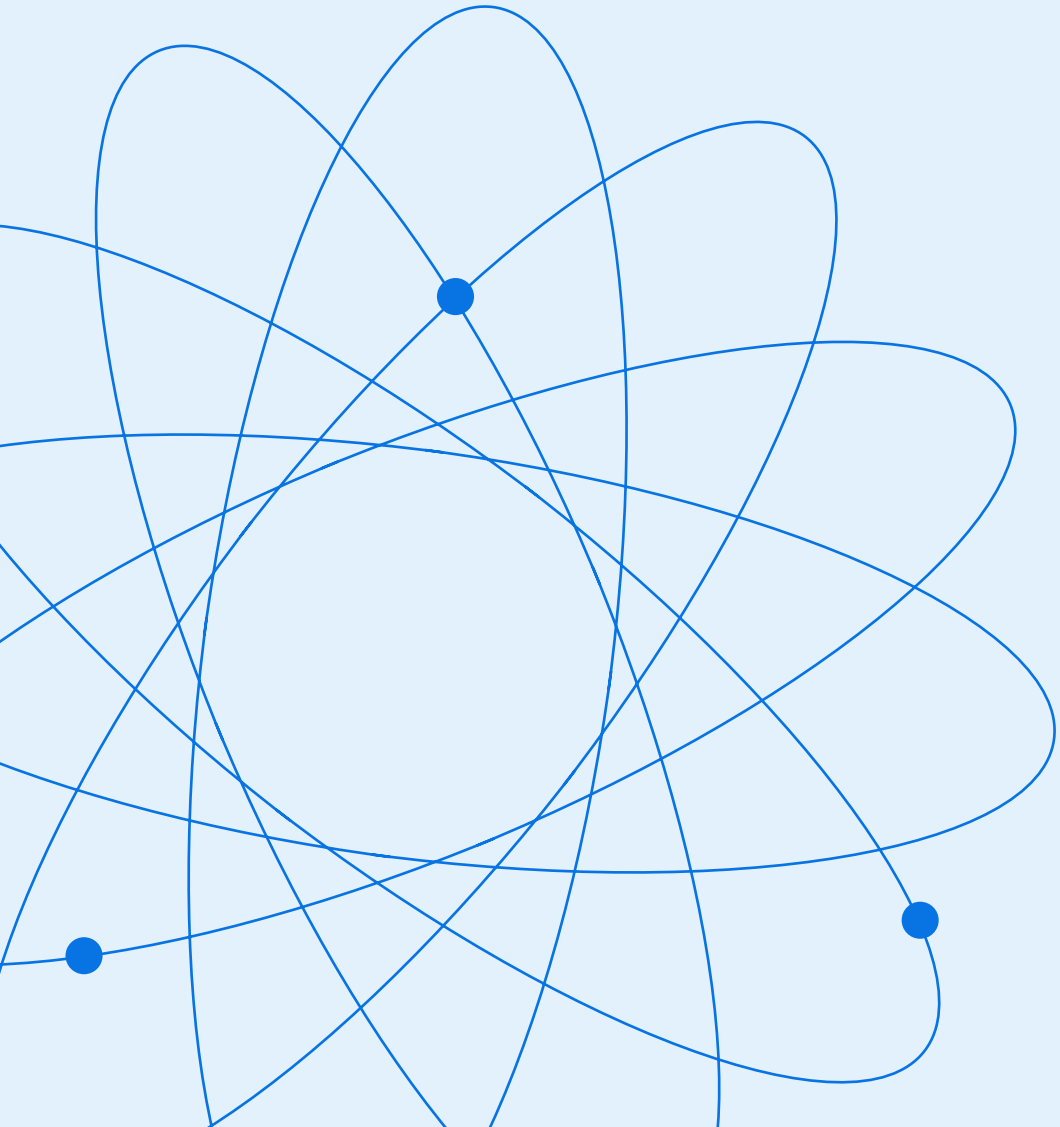
詳しい説明が必要ですか？

コミュニケーションチームに相談してください。MediaRelations@thomsonreuters.com

第 6 章

私たちのコミュニティ

信頼されるグローバル企業としての役割を果たす



すべては信頼から
一緒に働く仲間
市場において
資産および情報
当社における管理
私たちのコミュニティ
倫理ホットラインに懸念を報告する
連絡先

関連方針リンク

人権方針
サプライチェーン倫理規範
「現代奴隷法」に関する透明性ステートメント
ソーシャルインパクト・インスティテュート
環境・健康・安全
ESG チーム
「ソーシャルインパクト・レポート」を参照する

信頼されるグローバル企業としての役割を果たす

人権を尊重し、環境を保護するとともに、サプライヤーやビジネスパートナーに対しても高い倫理基準の遵守を求めましょう。

あなたの役割

人権を尊重する

強制労働、児童労働、人身取引、または危険な労働環境を一切容認してはなりません。

責任を持って調達する

当社の倫理基準を満たすサプライヤーやパートナーを利用しましょう。

環境を保護する

環境に関する要件を遵守し、環境保全、リサイクル、および持続可能性を推進しましょう。

自問自答してみましょう

- この活動は、労働者の尊厳、人権、安全、または合法的な雇用基準に影響を及ぼす可能性はないだろうか?
- サプライヤーやパートナーについて、倫理、人権、環境に関するリスクスクリーニングは実施しただろうか?
- 環境への影響を低減し、適用される方針や法令を遵守しているだろうか?

ケーススタディ

想定事例：サプライヤーに関する懸念

あるサプライヤーについて、強制労働をさせている、または労働環境が危険である疑いが生じました。取引・業務を中断し、懸念事項を記録し、ESG チームに相談してください。

すべては信頼から
一緒に働く仲間
市場において
資産および情報
当社における管理
私たちのコミュニティ
倫理ホットラインに懸念を報告する
連絡先

関連方針リンク

ソーシャルインパクト・インスティテュート
MyGiving プログラムガイドライン

地域社会へ貢献する

倫理的な慈善活動、ボランティア活動、および承認された寄付プログラムを通じて、地域社会を支援しましょう。

あなたの役割

責任ある寄付

承認された寄付プログラムや、審査済みの団体を利用しましょう。

倫理に則ったボランティア活動

ボランティア活動時間、マッチング、および報奨に関する方針に従いましょう。

不適切な影響を避ける

寄付、贈答品、またはイベントを利用してビジネス上の優位性を得てはなりません。

ケーススタディ

想定事例：顧客からの寄付の要求

ある顧客が、契約交渉中に、彼らが支援している慈善団体への寄付を求めてきました。行動する前に立ち止まり、相談しましょう。
この寄付が当社の価値観に沿ったものであり、利益相反が生じないことを確認する必要があります。

すべては信頼から
一緒に働く仲間
市場において
資産および情報
当社における管理
私たちのコミュニティ
倫理ホットラインに懸念を報告する
連絡先

政治活動への参加

承認された場合を除き、政治活動への参加は個人として責任を持って行い、政治活動、寄付、ロビー活動、および政策提言にトムソン・ロイターを関与させてはなりません。

あなたの役割

活動は個人的に

自分の政治的見解や活動が、あくまで個人的なものであることを明確にしましょう。

会社による支援をしない

政治的な目的のために会社のリソース、資金、または影響力を利用してはなりません。

事前承認を得る

ロビー活動、政策提言、または政府関係者への贈答を行うときは、事前に承認を得てください。

政治活動は、各個人の時間、資金、およびリソースを使って行いましょう。

ケーススタディ

想定事例 1：選挙活動の支援

あなたは、ある候補者または選挙運動を支援したいと考えています。こうした活動は、あくまで個人の立場で、勤務時間外に行ってください。会社のリソースを利用してはいけません。政治活動が個人的なものであり、トムソン・ロイターとは一切関係がないことを明確にしてください。

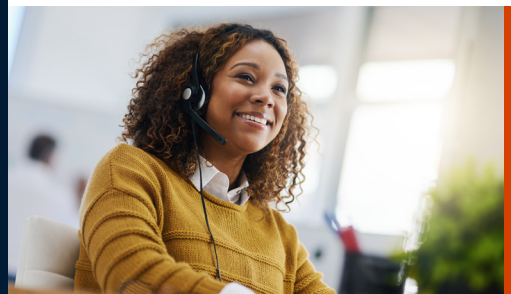
想定事例 2：公職への立候補

公職への立候補を検討している場合は、正式な手続きを開始する前に、上司およびEnterprise Complianceにその旨を通知してください。選挙運動は、トムソン・ロイターでの職務、時間、リソース、システムから明確に切り離した形で行ってください。利益相反を生じさせる恐れのある会社の案件には関与しないでください。

関連方針リンク

信頼の原則

Enterprise Compliance



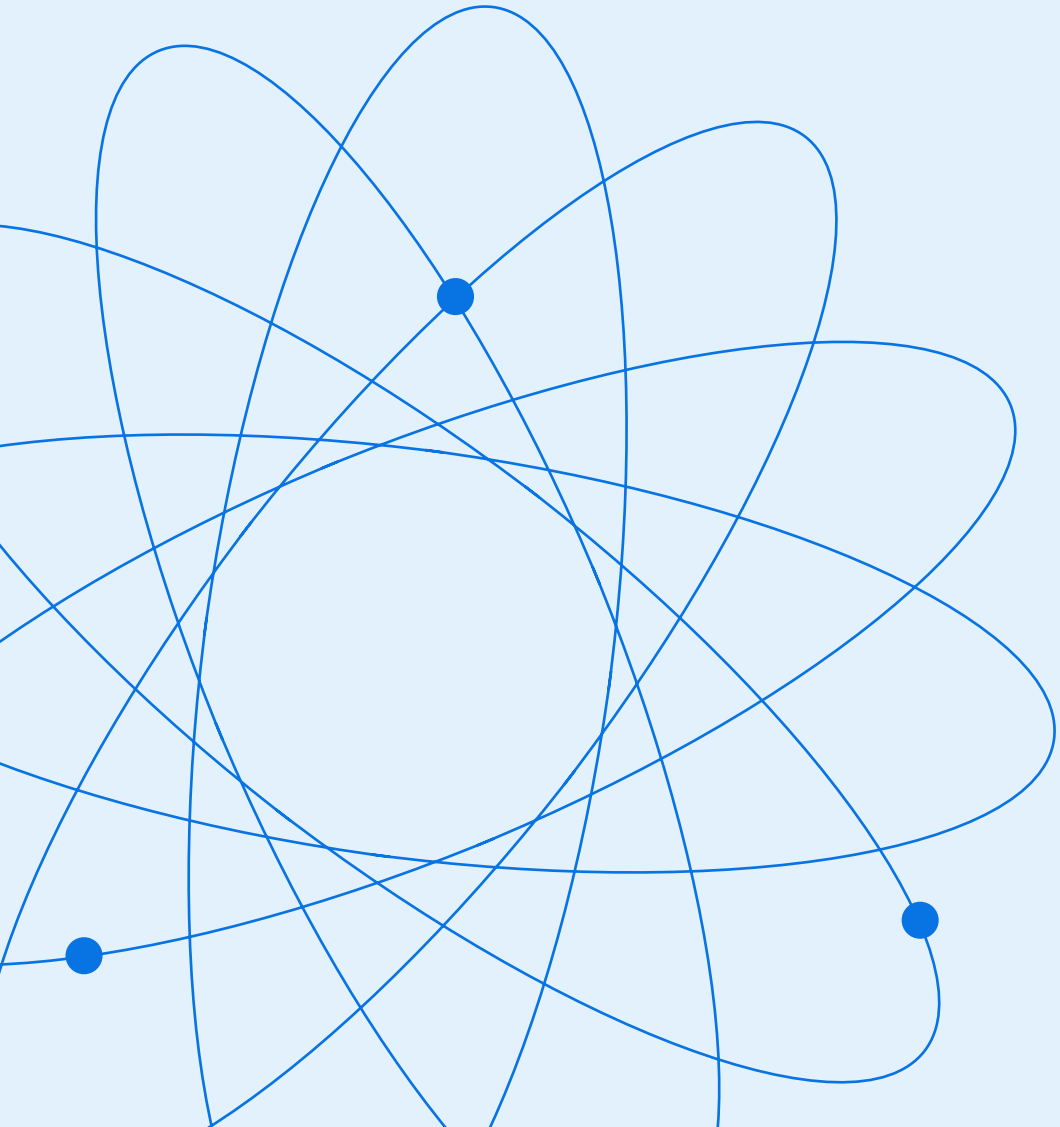
詳しい説明が必要ですか？

上司および Enterprise Compliance の承認を得てください。ECHelp@thomsonreuters.com

第 7 章

倫理ホットラインに懸念を報告する

世界中で倫理的かつ責任ある行動を通じて信頼を築く



すべては信頼から
一緒に働く仲間
市場において
資産および情報
当社における管理
私たちのコミュニティ
倫理ホットラインに懸念を報告する
連絡先

倫理ホットライン。懸念事項は秘密厳守で報告しましょう。

懸念を報告するのに確証や証拠は必要ありません。誠意があれば十分です。黙っていれば安全ということは決してありません。

倫理ホットラインを利用する

電話

877-373-8837
（米国／カナダ以外からは、国番号からダイヤルしてください）

オンライン

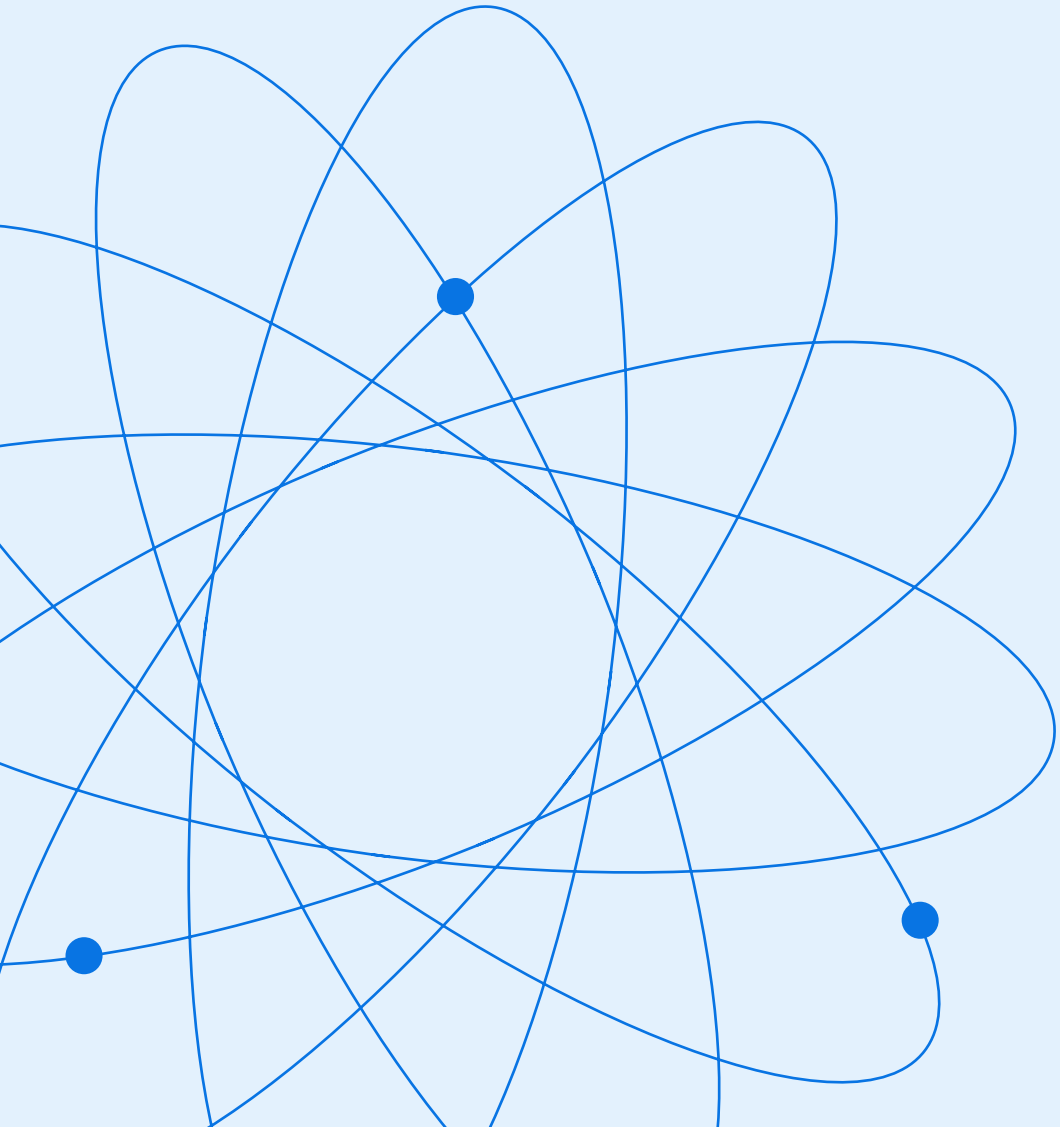
thomsonreuters.ethicspoint.com

報告は複数の言語に対応しています。法令上認められている場合、匿名での報告も可能です。

報告が受領されると、報告者には、進捗状況が確認できるように案件番号が通知されます。

報復に対するゼロトレランス

善意に基づいて懸念を表明したり調査に協力したりしたことを理由に、報復を行うことは厳格に禁止されています。



第 8 章

連絡先

ガイダンスやサポート、懸念事項の報告が
必要なときに利用できるリソースを紹介します

すべては信頼から
一緒に働く仲間
市場において
資産および情報
当社における管理
私たちのコミュニティ
倫理ホットラインに懸念を報告する
連絡先

主な連絡先とリソース

人事部門

職場および人材リソース

- 職場に関する問題
- 合理的配慮
- 差別に関する懸念
- ハラスメントと安全

情報セキュリティ

情報セキュリティチーム

- データ侵害
- フィッシングとマルウェア
- デバイスの紛失
- セキュリティインシデント
- ISRM 連絡先

法務部門（GCO）

法務部門（GCO）

- 契約および権限
- 政府関係
- インサイダー取引
- 知的財産
- 訴訟および調査

Enterprise Compliance

- ECHelp@thomsonreuters.com
- 利益相反、贈収賄・腐敗行為防止、制裁、貿易規制、AML/CTF
- 行動規範に関する質問

グローバルセキュリティ・安全

グローバルセキュリティ・EHS

- 脅威および不審な活動
- 入退館管理に関する問題
- 緊急事態または危険・災害
- 物理的なセキュリティ担当窓口

直属の上司

以下については、まず直属の上司に相談しましょう。

- 日常的な倫理に関わる問題や疑問
- 職場に関する懸念
- 本行動規範の適用に関するガイダンス

内部監査

- 内部不正に関する懸念事項
- 内部統制の不備または不遵守
- 財務監査または財務記録の事実と異なる表示

倫理ホットライン

- 倫理ホットラインを利用する

法的告知

本規範は、雇用契約を成立させるものではなく、該当する場合における従業員の「随意雇用」の関係を変更するものでもありません。また、個別の雇用契約または労働協約の条件を変更するものでもありません。

トムソン・ロイターは、予告の有無を問わず、本行動規範ならびに方針および手順をいつでも変更する権利を留保します。トムソン・ロイターは、本規範および関連する方針について、必要に応じて独自の裁量により解釈する権利を留保します。

万が一、本規範の特定の条項について適用除外が必要と考える場合は、トムソン・ロイターの最高法務責任者に連絡してください。役員または取締役に対する適用免除は、トムソン・ロイターの取締役会または取締役会の委員会によってのみ認められるものとし、トムソン・ロイターは、法令、規制、または証券取引所の要件により求められる範囲内で、その旨を開示するものとします。

誠実に行動して模範を示し、信頼を築くための
皆さんの尽力に感謝します

感謝します

© 2026 Thomson Reuters TR8219288/7-26

Thomson Reuters™